

文芸

◆俳句

露寒を仏知らずや石の上

池田 逸子

人の世に近道は無し竹の春

伊藤 敬子

黄蘆紅葉一色濃くし森に映え

伊藤 定男

袴着や祖父の羽二重凛として

今関満喜子

柿日和笑顔と笑顔お福分け

魚地 照子

竹擦れの音や明るき寺の秋

江森 悦子

分水嶺一望関東紅葉染む

大木 素風

野仏に蕙の紅葉が巻きつきぬ

大谷 武彦

白潮碑秋思がなぞる屋形浜

川島 孝夫

無住寺の境内明るく散銀杏

川島 通則

晩秋の街にオバマ氏凱歌聞く

桑名 大行

爽籟や軍船寄りし尾垂浜

向後 寛

悠悠と巡回飛行鬼蜻蜓

小松 藤男

櫓田に鳥の声あり遠筑波

佐瀬 輝夫

はよ去ねと雲を急かせて十三夜

六倉 道子

時雨るるやフランク永井の有楽町

玉虫 栗扇

風はこぶ紅葉一枚昼の縁

土屋美枝子

鐘の音の今宵身に入む比叡かな

戸村 静華

銀杏散るひとひら毎の夕日かな

長谷川正子

白潮の碑前に佇てり秋雲濃し

布施 和代

夕時雨駅の灯ゆれる涼

山口 一秋

千歳飴引き摺り母の手に引かれ

山口 とし

爽籟や古刹の多き安房の里

渡部 和秋

◆短歌

点滴を引きつつ歩む病棟は

安田 和子

夜のしじまに夢吸い込まむ

越川 福子

期待して見し番組は再放送

味気なく消す夜の雨風

雲り空突き破れば日本晴れ

雲海に写る真丸き虹

もみぢせる谷の吊り橋渡りゆく

水面に走るさざ波見つつ

木犀の花のかをりは吹く風に

庭越え道にひろごりるたり

古き衣を始末せねばと心決め

思ひ断つごとと鏡を入れぬ

朝六時成田へとゆく一番機

日曜の朝は床に聞きさるつ

岐阜に住む友より届きし富有柿

朱の深さを両手に包む

年なれば我を通す事もほどほどに

娘は笑ひつつさりげなく言ふ

田も畑も人に委ねて病室の

窓辺に義兄は稲刈り見つむ

休耕となりて三年の里の田に

今年はコスモス多に咲きあつ

亡き鼠が箒目立てるし広庭も

舗装となりて桜葉の積む

教育界の汚職は議員にまで及び

減点されし若人の惜し

千日草の花殻摘みつつ声かけぬ

今年も綺麗に咲いてくれたね

入れ込める詩への心の激しくて

同志ら離りし中原中也

鶏頭の花の紅きを透きとほす

秋の日差しやはらとなりぬ

まなこ閉じ薔薇の放てるよき香り

嗅ぎてるにけり花に類よせ

鈴木 まさ子

田崎 尚美

吉岡 信子

大場 和可

芹川 初子

青木 秀子

池田 春江

八角 三枝

島田ますみ

西山満里子

斉藤つね子

山武姥山貝塚

山武姥山貝塚

山武姥山貝塚

山武姥山貝塚

山武姥山貝塚

山武姥山貝塚

山武姥山貝塚

こうほう博物館

vol.9

山武姥山貝塚

横芝地域の北部にある姥山の台地の上には、山武姥山貝塚という縄文時代の遺跡があります。

貝塚は昔の人が捨てたゴミ捨て場のひとつで、貝殻のほか、動物の骨や土器のかけらなど、様々なものが出てきて、考古学の宝庫でもあります。

この貝塚の名前の姥山に山武の名が付くのは、市川市にも国指定史跡姥山貝塚があるため、それと区別するためにこう呼ばれるようになりました。この山武姥山貝塚も古くから知られ、昭和31年から42年にかけて慶応義塾大学が発掘調査をし、それまでには縄文時代晩期の土器が出土したことから、山武姥山式土器という名称が付けられ、有名になりました。また、平成元年には千葉県教育委員会によって、県内主要貝塚の重要遺跡確認調査が行われ、住居跡が確認されています。これらの発掘調査の結果、山武姥山貝塚は縄文時代中期から晩期末まで続いた遺跡で、特に晩期では山武姥山式や縄文終末期の土器が出るなど、この地域に特徴的であることが注目さ

れました。

栗山川流域では、このほか近隣の長倉宮ノ前遺跡や、多古町志摩の埜台遺跡などから、縄文時代晩期から弥生時代中期の土器が出土しています。そのことから、ここが縄文時代から弥生時代への変化をたどることができる地域として、多くの研究者から熱い視線が注がれています。

山武姥山貝塚の度重なる発掘調査は、大学や県が実施したため、出土した土器は町にはなく、調査したそれぞれの団体などに保管されています。そのため貝塚から出土した土器をなかなか見ることができませんが、似たような土器は近隣で発掘調査された、東長山野遺跡や長倉宮ノ前遺跡などから出土した、土器の中に見ることが出来ます。



▲山武姥山貝塚